

平成 29 年度事業報告書

公益財団法人徳川黎明会

I. 管理部門

1. 業務執行体制

前年度に引き続き、徳川美術館、徳川林政史研究所との連携・協調・協力をより深め、労使間で認識されてきた諸問題について、順次解消・解決をはかり、労働環境の整備に努めた。年度末に、一年近く空席となっていた徳川美術館管理部部長に山本 索氏を迎え、次年度に向け体制を強化し、円滑な法人事業活動に資すべく注力し、全般を統括した。

2. 諸規程見直し

長期懸案事項であった従業員の労働時間管理、割増賃金における一部問題について具体的に解消するとともに、従業員就業規則、給与規程について、平成 30 年 4 月 1 日付改定・施行を目途とした見直し整備を進め、休日労働削減・時短励行・業務効率化を励行すべく、従業員への周知・理解に努めた。

3. 募金活動

前年度同様、徳川美術館、徳川林政史研究所と連携し、活動支援基金を広く募った。また、従来の寄附受付制度や管理運用体制を見直し、寄附者にとってより利便性の高い寄附受付の仕組みや合理的管理運用のあり方について、次年度具体的改善を実施すべく、課題認識を共有し、検討協議を重ねた。

4. 監事監査

平成 29 年度会計・業務監査について、下記のとおり執り行われた。

日時： 平成 30 年 6 月 6 日／13 時 00 分より 15 時 20 分まで

場所： 当財団／本部会議室

対象： 会計、業務、理事の職務執行

5. 理事会・評議員会

(1) 理事会

・ 第 1 回 (定時)

日時： 平成 29 年 5 月 29 日／10 時 00 分から 11 時 18 分まで

場所： 当財団／本部会議室

議案： 第 1 号議案／平成 28 年度事業報告について

第 2 号議案／平成 28 年度収支決算について

第 3 号議案／平成 29 年度第 1 回定時評議員会開催について

結果： 全案について、出席理事一同異議なく議決された。

・ 第 2 回 (定時)

日時： 平成 30 年 3 月 28 日／14 時 00 分から 15 時 52 分まで

場所： 当財団／本部会議室

議案： 第 1 号議案／平成 30 年度事業計画について

第 2 号議案／平成 30 年度収支予算について

第 3 号議案／平成 30 年度資金調達及び設備投資について

結果： 全案について、出席理事一同異議なく議決された。

(2) 評議員会

・ 第 1 回 (定時)

日時： 平成 29 年 6 月 15 日／15 時 00 分より 16 時 51 分まで

場所： 当財団／本部会議室

議案： 第 1 号議案／平成 28 年度収支決算について

結果： 同案について、出席評議員一同異議なく議決された。

6. 官庁申請・届出・報告

・ 内閣府関係

下記について、電子申請システム（公益 Information システム）経由にて提出・報告した。

平成 29 年 6 月 平成 28 年度事業報告および決算報告

平成 30 年 3 月 平成 30 年度事業計画および収支予算

・ 税務関係

下記について、東京都豊島都税事務所に申告した。

平成 30 年 3 月 固定資産税・都市計画税非課税申告書

・ 労務関係

下記について、東京労働局に申請した。

平成 29 年 11 月 有期雇用特別措置法第二種計画認定・変更申請

下記について、池袋労働基準監督署および名古屋北労働基準監督署に届出た。

平成 30 年 3 月 改定従業員就業規則、改定給与規程、36 協定書

7. 役職員等の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

(1) 役員等

評議員 6 名、役員 8 名、相談役 2 名、合計 16 名

① 評議員

職位	氏名	現職
評議員会長	田中 秀隆	(公財)三徳庵理事長
評議員	太田 宏次	(公財)東洋医学研究財団理事長
評議員	小林 喬	富国生命保険(相)相談役
評議員	濱本 英輔	(株)ハーフ・センチュリー・モア顧問
評議員	原 俊夫	(公財)アルカンシエール美術財団理事長
評議員	室瀬 和美	(株)目白漆芸文化財研究所代表取締役

② 理事

職位	氏名	現職
代表理事 (会長)	徳川 義崇	徳川美術館館長・八雲産業(株)代表取締役
常務理事	竹内 誠	徳川林政史研究所所長・東京学芸大学名誉教授
理事	池田 弘一	アサヒグループホールディングス(株)相談役
理事	小林 忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
理事	徳川 斉正	(公財)徳川ミュージアム理事長
理事	前田 利祐	(公財)前田育徳会理事

③ 監事

職位	氏名	現職
監事	降旗 京二	降旗公認会計士事務所所長
監事	松平 頼武	(学)本郷学園理事長

④ 相談役

職位	氏名	現職
相談役	竹内 順一	東京芸術大学名誉教授
相談役	竹田 憲央	八雲産業(株)常務取締役兼総務部長

(2) 職員等

区分	常勤	非常勤	計
職員	22	0	22
雇員	3	0	3
嘱託	1	1	2
臨時	0	28	28
派遣	3	0	3
合計	29	29	58

(3) 協力者等

区分	常勤	非常勤	計
参与	0	7	7
特任研究員	0	13	13
非常勤研究員	0	15	15
非常勤研究生	0	5	5
非常勤学芸員	0	3	3
合計	0	43	43

II. 公益事業

[公益事業 1] 美術館の運営事業（徳川美術館）

平成 29 年度、徳川美術館は、前年度に耐震補強工事を完了した本館展示室での特別展・企画展開催が年間を通じて可能となったことにより、下掲の通り、5 本の特別展・企画展を本館展示室で企画し、実施した。また、前年度の本館展示室休室期間中に実施し、幸い好評を得た新館の名品コレクション展示室での特集展示を引き続き実施するとともに、これと連動しつつ、月替わりの展示をフォローする企画としてスタンプラリーを実施し、リピート来館者の確保と増加に努めた。本年度、昭和 62 年開館の新館が開館 30 周年を迎えたことからこれを記念する企画展「新・名品展—新館 30 年のあゆみ—」を開催し、併せて 30 年間の特別展・企画展を回顧するポスター展示を実施した。同時に美術館の運営を支援いただくボランティア制度も 30 周年を迎えたことで、これを記念する小冊子「ボランティア 30 年の歩み」を編集・配布し、現役および引退されたボランティアの方々への感謝の集いを開催した。本館開館 80 余年、新館 30 周年を経て、建物・設備等の経年劣化は避けられないところ、今後の改修に必要となる経費確保の必要性にも鑑み、平成 29 年 4 月より観覧料金の一部改定を行い、本館での特別展・企画展開催時の一般料金を 1,400 円（団体料金 1,200 円）とし、併せて来館者サービスのさらなる向上を図り、教育普及プログラムについても一層の工夫を加えたものとした（一例として「江戸学講座」の新設）。なお、各種会員制度のうち、友の会の会員数に顕著な増加（123 名）が見られたことは、リピート来館者の増加を意味するものであり、料金改定やスタンプラリー実施などによる影響・効果が現れたものと考えられる。これらの事業遂行の結果、本年度の来館者数は、217,310 名となり、前年度（231,155 名）に比し、約 6%の減となったが、当初想定（20 万名）は上回るどころとなった。

1. 美術品の展示・公開・保存・修理・収集

(1) 展示・公開

以下の展示・公開を行った。下掲①②③の展示による来館者数合計は 217,310 名となった。

① 名品コレクション展示室（新館第 1～第 5 展示室）

「名品コレクション展」として、年度内に 4 回大展示替えを行ったほか、約 1 か月毎に部分展示替えを実施した。また、各展示室で以下の特集展示を行った。第 6 展示室では、年度を通じ「国宝 源氏物語 絵巻（複製）」および同絵巻の解説（動画映像を含む）を展示した。特別展・企画展開催期間を除く新館展示室のみの開館日の来館者数は 15,663 名であった。

a. 4 月 4 日～7 月 2 日

4 月 4 日～5 月 7 日	[特集展示] 栗田口大集合	第 1 展示室
5 月 9 日～7 月 2 日	名刀物語①②	第 1 展示室
6 月 7 日～7 月 2 日	初夏の茶の湯①	第 2・第 3 展示室
6 月 7 日～7 月 2 日	七夕飾り	第 5 展示室

b. 7 月 4 日～9 月 3 日

7 月 4 日～9 月 3 日	[特集展示] 関ヶ原合戦	第 1 展示室
7 月 4 日～8 月 1 日	初夏の茶の湯②	第 2 展示室

c. 9 月 5 日～12 月 13 日

9 月 5 日～12 月 13 日	名刀物語③④⑤	第 1 展示室
11 月 15 日～12 月 13 日	源氏物語の世界	第 5 展示室

d. 1 月 4 日～3 月 31 日

1 月 4 日～2 月 6 日	[特集展示] 刀身彫刻の世界	第 1 展示室
2 月 7 日～3 月 31 日	名刀物語⑥⑦	第 1 展示室
1 月 4 日～2 月 6 日	鶴と亀	第 4 展示室
1 月 4 日～3 月 6 日	香の世界①②	第 5 展示室

② 特別展・企画展（本館第7～第9展示室）

以下の特別展・企画展を開催した。各展覧会の来館者数は下掲の通りであり、特別展企画展への来館者数合計は171,277名となった。

- a. 4月15日～5月28日 春季特別展「金と銀の国 ジパング ー輝きときらめきの美術ー」
名古屋市蓬左文庫共催展、中日新聞社共催
来館者数計 30,416名
- b. 7月15日～9月10日 特別展「天下人の城 ー信長・秀吉・家康ー」
読売新聞社共催
来館者数計 42,451名
- c. 9月16日～11月5日 秋季特別展「天璋院篤姫と皇女和宮」
名古屋市蓬左文庫共催展、中日新聞社・日本経済新聞社共催
来館者数計 37,676名
- d. 11月11日～12月13日 企画展「新・名品展 ー新館30年のあゆみー」
中日新聞社共催
来館者数計 21,120名
- e. 2月3日～4月8日 特別展「尾張徳川家の雛まつり」
中日新聞社共催
来館者数計 46,009名（うち3月31日までの来館者数計 39,614名）

③ 特別展・企画展（名古屋市蓬左文庫展示室）

名古屋市との協力の下、以下の特別展・企画展を行った。これらのうち、a・c・d・e・fの各展覧会は上掲②a～eと同時に開催のため、来館者数は同一であり、b・fの各展覧会の来館者数は下掲の通り、合計は30,370名であった。

- a. 4月15日～5月28日 春季特別展「金と銀の国 ジパング ー輝きときらめきの美術ー」
上記1.(1)②a.に同じ
- b. 6月2日～7月9日 企画展「江戸の生きもの図鑑 ーみつめる科学の眼ー」
来館者数計 21,534名
- c. 7月15日～9月10日 特別展「天下人の城 ー信長・秀吉・家康ー」
上記1.(1)②b.に同じ
- d. 9月16日～11月5日 秋季特別展「大名家の御用アーティスト ー匠たちの技ー」
中日新聞社・日本経済新聞社共催
- e. 11月11日～12月13日 企画展「もののあはれ ー物語と花鳥風月ー」
- f. 1月4日～1月28日 企画展「奇才、我が道をゆく ー達磨・布袋・一休…」
来館者数計 8,836名
- g. 2月3日～4月8日 企画展「ひなを楽しむ ー旧家のひな飾りー」

④ 特別公開（新館第5展示室、同第2展示室）

例年通り、以下の特別公開を実施した。

- a. 11月18日～11月26日 「国宝 源氏物語絵巻 柏木二（詞・絵）、東屋二（詞・絵）」
- b. 2月24日～3月4日 「千利休 泪の茶杓」

⑤ 特別観覧（茶室餘芳軒および山の茶屋）

以下の特別観覧を実施した。参加者数は合計2,243名であった。

- a. 徳川茶会（全8回8日間）
10月8,14,15,21,22,28,29日、11月3日
- b. 研究者等特別観覧
大学等学術・研究機関、外部美術館等からの要請に応じ、合計18件の特別観覧を実施した。

⑥ 他館主催展覧会への収蔵品出陳

他館主催の展覧会に対し、合計 19 館、のべ 80 件の収蔵品を出陳した。

4 月 11 日～6 月 4 日 東京国立博物館「茶の湯」展

10 月 3 日～11 月 26 日 京都国立博物館「国宝」展、ほか

⑦ 館外展示

以下の展覧会に対し、収蔵品 99 件を出陳した。

7 月 7 日～8 月 20 日 富山県水墨美術館「天下人・徳川家康と尾張徳川家の至宝」展

⑧ 他館ほか所蔵者からの借用作品展示

各特別展・企画展をテーマに即し、合計 671 点の作品を借用し、展示した。

(2) 保存・修理・収集

① 保存・収集

本年度の購入および受贈はなかった。

② 修理

以下の修理を実施した。

a. 基本美術品（計 2 件）

- ・ 国宝 源氏物語絵巻 関屋・絵合・柏木（一）・早蕨・東屋（一）

国宝重要文化財等保存整備費補助金（国庫補助事業）による修理（平成 28 年度より 4 か年継続）

- ・ 国宝 初音蒔絵調度 書棚

住友財団助成金「文化財維持・修復事業助成」による修理

b. 普通美術品（計 3 件）

- ・ 古天明釜 銘 梶
- ・ 花唐草文蒙流仕覆（瀬戸夏山春慶茶入附属）
- ・ 間道仕覆（唐物筋釣付茶入附属）（継続）

(3) 収蔵品撮影（館内）

本年度開催の各展覧会のための広報用および図録作成に必要な撮影を合計 71 件 133 カット分行ったほか、次年度作成予定の刀剣図録用の撮影を 42 件 138 カット分行った。また、徳川茶会参加者向けの作品紹介ビデオ 20 点分を作成した。

2. 調査・研究

(1) 美術館における調査・研究

学芸部において、以下の研究を行った。

課題（開始年度）

- | 課題（開始年度） | 担当 |
|---------------------------------------|---------------|
| ・ 館蔵品悉皆調査（昭和 63 年度） | 学芸部共同 |
| ・ 尾張徳川家御道具帳のデータベース化（平成 27 年度） | 学芸部共同 |
| ・ 尾張徳川家関係寺社蔵品調査（昭和 58 年度） | 学芸部共同 |
| ・ 尾張徳川家に関連する建中寺所蔵什宝の調査（平成 20 年度） | 学芸部共同 |
| ・ 古代・中世の料紙装飾の系譜（昭和 60 年度） | 四辻 秀紀（部長） |
| ・ 歌絵・物語絵の研究（平成 3 年度） | 四辻 秀紀（部長） |
| ・ 徳川将軍家と尾張徳川家の研究（平成 19 年度） | 原 史彦（部長代理） |
| ・ 戦国合戦図の総合的研究（平成 20 年度） ^{※1} | 原 史彦（部長代理） |
| ・ 大名家における絵師の絵画活動についての研究（平成 6 年度） | 吉川 美穂（マネージャー） |
| ・ 尾張における画家の活動について－田中訥言を中心に－（平成 11 年度） | 吉川 美穂（マネージャー） |
| ・ 武家女性の生活史の研究（新規） | 吉川 美穂（マネージャー） |
| ・ 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について（平成 8 年度） | 並木 昌史（学芸員） |
| ・ 有職装束の研究および松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査（平成 10 年度） | 並木 昌史（学芸員） |
| ・ 渡来織物の調査研究（新規） | 並木 昌史（学芸員） |

- ・ 近世狩野派の研究（平成 24 年度） 薄田 大輔（学芸員）
- ・ 戦国合戦図の総合的研究（平成 18 年度）※1 薄田 大輔（学芸員）
- ・ 江戸初期絵画の研究（平成 24 年度） 加藤 祥平（学芸員）
- ・ 尾張徳川家茶頭の研究（平成 28 年度） 加藤 祥平（学芸員）
- ・ 愛知県における仏教絵画の研究（平成 25 年度） 安藤 香織（学芸員）
- ・ 高雄曼荼羅にみる古代アジア密教美術の様相（平成 26 年度）※2 安藤 香織（学芸員）
- ・ 近世狩野派を中心とした図様継承と
絵画制作システムに関する研究（新規）※3 安藤 香織（学芸員）
- ・ 東洋陶磁の研究（平成 25 年度） 吉富 真知子（学芸員）
- ・ 唐物受容史の研究（平成 28 年度） 吉富 真知子（学芸員）

※1 東京大学史料編纂所特定共同研究

※2 科学研究費助成事業（奈良国立博物館主任研究事業）の分担研究者として

※3 科学研究費助成事業（東京国立博物館主任研究事業）の分担研究者として

(2) 徳川林政史研究所との連携による研究（前年度より継続）

① 以下の各項の研究を引き続き行った。

- ・ 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ・ 尾張徳川家関連古写真資料に関する基礎調査・研究

② 以下の展覧会において林政史研究所所蔵の史料を展示した。

- ・ 展覧会名：「江戸の生きもの図鑑 —みつめる科学の眼—」
借用史料名：草木性譜ほか 6 点
- ・ 展覧会名：「天下人の城 —信長・秀吉・家康—」
借用史料名：駿州・豆州・相州御石場絵図ほか 11 点

- ・ 展覧会名：「天璋院篤姫と皇女和宮」
借用史料名：阿蘭陀機密風説書ほか 3 点

③ 歴代当主の事績や年譜に関する情報を共有するなど、徳川林政史研究所研究員と密接に連絡を取り合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

(3) 尾張徳川家伝来「裂」類の共同調査の推進

徳川美術館所蔵「裂」類の悉皆調査を継続した。

(4) 収蔵品データベースの整備（前年度より継続）

以下の各項を継続実施した。

- ・ 調書作成・入力
- ・ 写真データ作成・入力
- ・ 展示作品リスト・キャプション用データ整備・入力
- ・ リスト・キャプションの作成

(5) 研究用図書類の整備

① 図書（購入計 132 冊、受贈計 466 冊）

以下の書籍等を購入した。

『尾州名児屋金城下御主意御諭書』（史料）、『明治時代史大辞典 1～4』（吉川弘文館）、『中世瀬戸窯の研究』（藤澤良祐著／高志書院）、『病草紙』（加須屋誠・山本聡美著／中央公論美術出版）、『中国文物地図集』（文物出版社）、『史料纂集 古記録編』（八木書店）ほか

以下の書籍等を受贈した。

『尊経閣善本影印集成』（八木書店）、『茶室露地大事典』（淡交社）ほか

② 雑誌（購入計 260 冊、受贈多数）

以下の雑誌を購入した。

『國華』（國華社）、『美術史学研究』（韓国美術史學會）、『文物』（文物編集委員会／文物出版社）、『故宫

学術季刊』(国立故宮博物院)ほか

以下の雑誌を受贈した。

『茶道の研究』(日本茶道学会/三徳庵)、『美術研究』(東京文化財研究所)、『MUSEUM』(東京国立博物館)、『茶の湯文化学』(茶の湯文化学会)ほか

(6) 研究成果の公開・公刊

以下の通り、研究成果を公開・公刊した。

① 定期研究発表会

6月8日(第71回) 神君家康神話と妖刀村正伝説 原 史彦
1月8日(第72回) 天下の名園・戸山荘の絵画化について 薄田 大輔

② 図録、研究紀要等

a. 特別展図録作成

- ・ 春季特別展「金と銀の国 ジパング 一輝きときらめきの美術」
金の輝き・銀の煌めき 四辻 秀紀
天下人と金 原 史彦
江戸時代障屏画における金地と銀地 薄田 大輔
作品解説 学芸部共同
- ・ 秋季特別展「天璋院篤姫と皇女和宮」
天璋院篤姫と皇女和宮二人の御台所 吉川 美穂
明治初年の尾張藩と徳川宗家 藤田 英昭
作品解説 原 史彦・吉川 美穂

b. 簡易リーフレット(鑑賞のポイント・しおり)

「江戸の生きもの図鑑 一みつめる科学の眼」、「天下人の城 一信長・秀吉・家康」

c. 外部提携図録

「天下人の城 一信長・秀吉・家康」

d. 金鯨叢書第45輯の編集・刊行

「掃墨物語絵巻」雑感 四辻 秀紀
「刀 銘 村正」の伝来と妖刀村正伝説 原 史彦
俊恭院福君の婚礼と菊折枝蒔絵調度 吉川 美穂
尾張徳川家における世襲財産附属物 香山 里絵
[史料紹介] 尾張徳川家伝来「即位之記」について(上) 並木 昌史

(7) 美術館だより「葵」の編集・発行(年度内4回)

下掲のエッセイを含む「葵」を編集・発行した。

4月(第102号)

エッセイ「京焼における金と銀」 岡 佳子 氏(大手前大学総合文化学部教授)

7月(第103号)

エッセイ「城を攻めるとのこと」 本郷 和人 氏(東京大学史料編纂所教授)

9月(第104号)

エッセイ「薩摩藩島津家と摂家近衛家」 橋本 政宣 氏(東京大学名誉教授)

1月(第105号)

エッセイ「能の来た道、日本の行く道」 大倉 源次郎 氏(大倉流小鼓方16世宗家)

(8) 大名道具収蔵館研究会(平成4年度より継続)

引き続き下掲の研究会に参加した。

11月17日 第24回研究会(於、仙台市博物館)

3. 教育・普及

(1) 特別展記念講演会

4月15日	金で鎊(かざ)る、銀で愛でる	久保 智康 氏 (叡山学院教授)
6月11日	大名から庶民まで楽しんだ江戸の園芸	小笠原左衛門尉亮軒 氏 (雑花園文庫庫主)
7月16日	天下人の城と近世城郭	千田 嘉博 氏 (奈良大学教授)
7月29日	天下人と戦った武田と真田	丸島 和洋 氏 (慶應義塾大学非常勤講師)
8月6日	江戸城天守復元トークセッション	千田 嘉博 氏 (奈良大学教授) 富永 商太 氏 (歴史復元画家)
9月3日	城を攻めるということ	本郷 和人 氏 (東京大学史料編纂所教授)
9月16日	日本の江戸文明	徳川 恒孝 氏 ((公財) 徳川記念財団理事長)

(2) 土曜講座「大名の生活と文化」

4月22日	尾張藩士の見た大江戸	竹内 誠 (徳川林政史研究所所長)
5月13日	荘厳と風流—金と銀の美術—	四辻 秀紀
6月18日	尾張の本草学と博物図譜	安藤 香織
7月22日	愛知の中世城館—縄張図を読む—	原 史彦
9月30日	御用アーティストにみる大名のお好み	薄田 大輔
10月7日	天璋院と和宮 幕末の江戸城大奥	吉川 美穂
11月25日	詩歌と美術	並木 昌史
1月20日	画賛を読み解く	加藤 祥平
2月10日	香の文化	安藤 香織
3月10日	雛さまざま	四辻 秀紀

(3) 夏期講座「天璋院篤姫と皇女和宮」

8月29日	戸山邸をめぐる天璋院と徳川宗家	藤田 英昭 (徳川林政史研究所研究員)
8月29日	和宮と江戸・美濃	望月 良親 氏 (岐阜市歴史博物館学芸員)
8月30日	天璋院篤姫と皇女和宮	柳田 直美 氏 ((公財) 徳川記念財団学芸部長)
8月30日	幕末の大奥と二人の御台所	吉川 美穂

(4) 徳川林政史研究所による古文書入門講座「田沼時代—徳川宗勝・宗睦の治世—」(土曜日午後開講)

6月10日	田沼意次の虚像と実像	竹内 誠 (所長)
6月17日	尾張藩の治山・治水 —庄内川の氾濫と水野千之右衛門—	萱場 真仁 (非常勤研究員)
6月24日	田沼意次と一橋治済—治済長男豊千代の 将軍世子決定をめぐる—	深井 雅海 (副所長)
7月1日	名古屋城の修築と藩主巡覧	白根 孝胤 (特任研究員)
7月8日	宝暦十年 公家の食べあるき東海道中記	藤田 英昭 (研究員)
7月15日	尾張御小納戸日記を読む —天明五年の名古屋城御堀心中事件—	藤田 英昭

(5) 徳川林政史研究所による江戸学講座「将軍の居城・江戸城」(土曜日午後開講)

11月11日	江戸城今昔物語	竹内 誠
12月2日	江戸城本丸御殿の機能 —名古屋城と比較して—	深井 雅海
1月13日	天保の西丸再建と木曾山	萱場 真仁
1月27日	江戸城明渡しと尾張藩	藤田 英昭

(6) 刀剣講座(日曜日午後開講)

4月23日	日本刀の見方 刀剣の鑑定と鑑賞の基礎	福井 款彦 氏 (熱田神宮文化研究員)
5月21日	作刀の工程と方法 製銅・鍛錬・焼入	丹羽 兼信 氏 (刀鍛冶)
6月25日	武器としての刀剣	

演武 古流無双直伝英信流居合兵法 山口 峻輝 氏 (神和会代表)
大名家における刀剣 尾張徳川家を例に 並木 昌史

(7) ギャラリー・トーク

6月4日	江戸の生きもの図鑑	安藤 香織
6月22日	江戸の生きもの図鑑	木村 慎平 (名古屋市蓬左文庫学芸員)
7月25日	天下人の城	原 史彦
8月31日	天下人の城	原 史彦
11月15日	新・名品展	並木 昌史
11月26日	もののあはれ	四辻 秀紀
12月2日	新・名品展	並木 昌史
1月14日	奇才、我が道をゆく	加藤 祥平
1月17日	奇才、我が道をゆく	加藤 祥平

(8) 「特別展」・「企画展」関連企画

5月3日～5日	ゴールデン・ウィーク特別企画「戦国武将なりきりウィーク」
7月15日～9月10日	天下人の城展 熊本城・復興支援パネル展示
7月15日～9月10日	天下人の城展 応援ブログ開設
7月29日	天下人の城展 歴史ナイト
2月22日～24日	尾張徳川家の雛まつり展企画 姫君満喫プラン
2月25日	尾張徳川家の雛まつり展企画 オリジナル香袋・文香をつくる
3月3日	尾張徳川家の雛まつり展企画 目で見ると雛まつり 十二単着装公開 (2回)
3月6日	尾張徳川家の雛まつり展企画 スライド・レクチャー 安藤 香織
3月24日	尾張徳川家の雛まつり展企画 スライド・レクチャー 並木 昌史

(9) 新館開館 30 周年関連企画

過去 30 年間の主な特別展・企画展のポスターを展示
記念ロゴ作成、ポスター・ちらし等に利用

(10) 組香体験 (個人向け)

6月13,15,18日 名品コレクション展七夕飾り企画「和の香りを楽しむ 組香ー星合香ー」
11月25,30日、12月1日 企画展「もののあはれ」「和の香りを楽しむ 組香ー宇治山香ー」

(11) 土曜子ども教室の開催 (小中学生向け教育・普及、※小中高生の観覧料は無料)

① 土曜子ども教室

4月1日～3月31日 (44日間)

毎週土曜日、1日3回、各約60分、小学校・中学校の児童および生徒を対象に実施。

美術館の紹介、「今月のポイント」(月替わりで収蔵品を紹介)、「体験タイム」(月替わりで大名文化を体験)、名品コレクション展示室で展示解説を実施。

参加者計 1,432 名 (子ども 917 名、大人 515 名)

② 体験学習・校外学習の受け入れ

a. 体験学習

貝あわせ、刀解体組立、火縄銃に触れる、甲冑着装、子ども出世すごろく等を体験後、館内を見学。

小学校 1 校、参加者計 46 名

中学校 6 校、参加者計 367 名

高校 3 校、参加者計 44 名

大学法人 3 校 (留学生含む)、参加者計 70 名

団体 2 件、参加者計 80 名

b. 校外学習

美術館紹介と作品解説。

小学校 3 校、参加者計 74 名
中学校 4 校、参加者計 88 名
高校 1 校、参加者計 117 名
大学 4 校、参加者計 256 名
その他 1 校、参加者計 8 名

c. 出張教室

中学校 1 校、参加者計 200 名
名古屋市立小中学校社会科部会、参加者計 20 名

(12) 夏休み子ども特別企画

8 月 1 日～8 月 31 日

ギャラリー・クイズ、歴史教室、歴史体験教室、自由研究を開催し、名古屋市立小学校および中学校などにポスター（500 枚）を配布した。

ギャラリー・クイズ、参加者計 1,785 名

小学生および中学生の歴史教室「天下人の城」、参加者計 1,121 名

歴史文化体験「遊んで作ろう、貝あわせ」、参加者計 555 名

自由研究（8 月 15,18 日）、参加者計 45 名

(13) 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラム・セミナー

7 月 25 日 参加者計 6 名

(14) 名刀スタンプラリー

4 月 4 日～平成 30 年 4 月 1 日（随時） 6 回以上の参加者計 600 名

(15) 中高生・大学生の職場体験の受け入れ（インターンシップ）

① 職場体験

中学校 3 校、高校 4 校 参加者数計 15 名、教諭 1 名を受け入れた。

② 職場訪問

中学校 6 校、参加者計 31 名を受け入れた。

(16) 学芸員実習の受け入れ

5 月 16 日～5 月 20 日 博物館経営に関する講義および体験（於、館内各施設）、学生 6 名参加

(17) 古美術相談会

3 回開催、相談件数計 3 件

その他、写真郵送等による相談件数計 22 件

(18) 名曲講座

5 月 27 日 世界的チェリストと巡る江戸時代と西洋の音楽

マリオ・ブルネロ 氏（チェロ）／鈴木 大介 氏（ギター）

(19) 館外見学会の実施

9 月 1 日（第 56 回） 三重編 北畠館・松坂城と城下、参加者計 39 名

10 月 4 日（第 57 回） 岐阜編 久々利城・千村館・苗木城、参加者計 35 名

11 月 1 日（第 58 回） 愛知編 市場城・足助城と城下、参加者計 32 名

(20) 館長講演活動

11 月 17 日 演題「文化を守る」 於、あいおいニッセイ同和損害保険（株）「経営塾」 徳川 義崇

1 月 18 日 演題「文化を守る」 於、ボランティアグループ「アイリスあさひ」 徳川 義崇

(21) 出講・受嘱

① 出講

学芸員計 7 名が、合計 13 の大学の講座等に出講した。

② 受嘱

学芸部員計 6 名が、文化庁、愛知県、大学等、合計 10 件の専門委員、研究員等の委嘱を受け、必要業

務を遂行し、外部機関からの依頼にもとづき、随時職員を派遣した。

(22) 協賛事業

① 第 96 回名古屋市文化史教室（事業提携）

夏休み子ども教室を名古屋市と共催

② 演奏会

4月2日 チャンビン 氏（二胡）

③ 「文化のみち 雛巡りスタンプラリー」

2月8日～3月11日 名古屋文化遺産活用実行委員会「文化遺産を活かした地域活性化事業」

文化のみち6施設と連携し、各施設で雛まつり関連を企画、ちらし10,000枚配布、参加者計4,000名

④ 愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」

2月8日～3月11日

4. 賛助会・友の会・大学メンバーシップ

(1) 賛助会会員向け優待

以下の各項の優待を引き続き行った。

- ・ 1年間の無料入館
- ・ 企画展・特別展内覧会を開催
各企画展・特別展の開催日前日に賛助会員内覧会を開催（図録がある場合は無料配布）
- ・ 美術館日より「葵」および各種印刷物の配布
- ・ 特別鑑賞会および懇親会の開催（11月4日）
- ・ 見学会（国内の史跡・特別展等）の実施
- ・ 茶会、ショップ商品等の割引

本年度の会員数推移は以下のとおりとなった。

種別	前期末	今期入会	今期退会	今期末	前期対比
個人	104	13	7	110	+6
家族	24	1	4	21	▲3
法人	54	0	3	51	▲3
合計	182	14	14	182	0

(2) 友の会会員向け優待

以下の各項の優待を引き続き行った。

- ・ 一般会員・情報会員向け美術館日より「葵」および各種印刷物の配布
- ・ 一般会員向け1年間の無料入館制度（ただし、従来特別展の観覧は1回目のみ無料、2回目以降は一般料金を適用してきたところ、平成18年4月以降は、2回目以降の観覧について割引料金（団体料金）を適用している。）
- ・ 一般会員向けのショップでの割引
- ・ 他館との連携による各々の会員向け相互観覧料割引

本年度の会員数推移は以下のとおりとなった。

種別	前期末	今期入会	今期退会	今期末	前期対比
一般	438	205	86	557	+119
情報	18	11	7	22	+4
合計	456	216	93	579	123

※ 一般会員のうち、26名が半期入会（4,320円）の会員

(3) 大学メンバーシップ会員向け優待

- ・ 対象大学の学生（一部対象大学は教職員も含む）の無料入館

- ・対象大学への展覧会ポスター・ちらし、イベント案内等の配布、掲示
- ・新規発行図録の寄贈

年度末の加盟校は以下の 27 校となった。

愛知学院大学、愛知学院大学短期大学部、愛知学院大学歯科技工専門学校、愛知県立芸術大学、愛知県立大学、愛知工業大学、愛知淑徳大学、桜花学園大学、名古屋短期大学、金城学院大学※、椋山女学園大学※、中京大学、中部大学、東海学園大学、同朋大学、名古屋学院大学、名古屋学芸大学、名古屋外国語大学、名古屋芸術大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、名古屋造形大学、名古屋大学、名古屋文化短期大学、名古屋ファッションビューティー専門学校、南山大学、名城大学※

※印以外の大学法人等は教職員も加入

- (4) 各会員制度の一層の拡充に向けた検討
 - ・法人向け賛助会員案内パンフレット作成
 - ・大学メンバーシップ料金の新たな枠組み検討

5. 管理

(1) 観覧料金

① 観覧料金の一部改訂（4月15日～）

平成9年度に一般観覧料金を1,200円（団体1,000円）と設定し、以来、消費税率引き上げ時（平成26年4月）にもこれを改訂せず20年間据え置いてきたところ、来館者へのサービス向上を含め、今後の美術館運営上の、施設の老朽化への対応を含む諸般の必要性に鑑み、観覧料金を一部改定することとし、本館での「特別展」・「企画展」開催時に限り、一般料金を1,400円（団体料金1,200円）に改定することとした（ただし、本館展示がない場合の観覧料金は現行料金を据え置きとし、小・中生、高・大生、および会員料金等についても据え置きとした）。

② 前売りペアチケットの導入

上記の観覧料金一部改訂と同時に、団体（20名以上）料金適用に至らない人数のグループに対しても前売りでの一括購入の場合には割引料金を適用することによって、来館者向けサービス提供と誘致を行うこととし、適用対象とする特別展を「金と銀の国 ジパング」、「天璋院篤姫と皇女和宮」（以上2件は名古屋市蓬左文庫との共催展）および「尾張徳川家の雛まつり」として、会期前の一定期間、チケットぴあ、コンビニエンスストアで2枚2,300円（即ち1枚分1,150円）のチケットを販売することとした。

(2) ゴールデン・ウィークおよびお盆時期の月曜日開館

以下の連休中の月曜日を開館日とし、観覧の需要に対応した（翌火曜日も開館した）。

5月1日、8月14日

(3) 広報

① 展覧会内容に即した一層効果的な広報を推進する観点から、各特別展・企画展のポスター・ちらしのデザインに意を用い、配布先も一部を重点化するなどの工夫を加えた。また、各特別展・企画展および特別公開、教育普及プログラムの講演会、講座、教室、特別企画その他のイベント等について会員向け機関誌「葵」に掲載するとともに、ホームページ、Facebook、Twitterへの情報掲載も随時行った。

② その他、広報効果向上の観点から以下の項目を実施した。

- ・映画「たたら侍」とタイアップし、コーナー展、トークショーを実施
- ・名古屋港水族館とのコラボレーション企画「鯀の尾ってどんな尾？」開催
- ・新館開館30周年記念ロゴ作成とポスター・ちらし等への利用
- ・岡崎信用金庫の定期広報紙における特集記事への協力

③ 平成29年度のメディアによる取材は以下のとおりであった。

展覧会等	新聞	テレビ・ラジオ	雑誌等
金と銀の国ジパング	2	0	0

江戸の生きもの図鑑	2	0	0
天下人の城	3	4	1
天璋院篤姫と皇女和宮	3	1	1
もののあはれ	1	0	0
奇才、我が道をゆく	3	1	0
国宝源氏物語絵巻特別公開	1	1	0
尾張徳川家の雛まつり	3	4	0
新発見 紺紙金字法華経	5	1	0
鯨尾藤四郎（和菓子、水族館コラボ）	5	10	0
館の紹介	0	8	0
合計	28	30	2

④ 有料広告として以下の掲示・掲載を行った。

市バス・地下鉄タイアップ広告（ちらし等）の掲載（金と銀の国ジパング）、JR 主要ターミナル大型パネル（天璋院篤姫と皇女和宮）キラッ都ナゴヤ（毎月）、名古屋アートニュース（隔月）、大曽根駅南口看板（常設）、大曽根駅北口看板（常設）、地下鉄車道駅三館共通看板、電柱看板（常設）

(4) 営業

① 団体利用促進のための活動として以下を行った。

- ・ 旅行会社への働きかけ（関東、近畿、北陸、東海の手旅行社・バス会社）
- ・ 教育旅行誘致活動（大阪・京都市内の小学校および教育旅行取扱の旅行会社への営業活動）
- ・ 夜間開館・休館日貸切開館の実施（利用実績：夜間 3 件 195 名、休館日 2 件 1,100 名）
- ・ 館内施設の貸出（茶室、講堂）
- ・ 名古屋観光コンベンションビューローの観光プロモーションへ参加
- ・ 大学メンバーシップのルートを使用して展覧会等の情報提供を実施

② 個人来館者利用促進のための活動として以下を行った。

- ・ 会社への広報宣伝協力要請
各旅行会社の個人旅行向けパンフレットに情報掲載（JTB、近畿日本ツーリスト、JR 東海）
- ・ 前売券の販売促進
百貨店友の会 4 店舗で販売を実施（利用実績：1,445 枚）
チケットぴあ、ローソンチケット、プレチケにて前売券を販売（利用実績：2,366 枚）
福利厚生クラブ（RELO CLUB）にて入館券の割引提携開始
- ・ 近隣の地域・施設・組織との連携
近隣商店街との連携（駅から道沿いの店舗でポスターの掲示）
瀬戸市観光協会と雛まつり展の相互 PR 連携
JR・地下鉄のウォーキング時のちらしに割引券を掲載
- ・ 各団体と連携したスタンプラリーを実施
名古屋観光コンベンションビューローの観光スタンプラリー実施（4 月、9 月）
愛知観光協会と産業観光スタンプラリーを実施（6 月）
近鉄とタイアップした観光スタンプラリーの実施（9 月）

③ 閉館後・休館日等における時間外の利用誘致

時間外貸出し、計 3 件（計 195 名）

(5) ボランティアの会

① 会員数推移は以下のとおりであった。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
会員数	381	336	324	356	320

① 公募ボランティアにより、展示室内監視業務および以下の解説業務に活動いただいた。

- ・ 平日の解説
- ・ 土曜日・日曜日・祝日の展示解説
- ・ 土曜子ども教室・夏休み子ども教室・分散学習又は団体学習
- ・ 申込み団体への解説

概要解説 79 件、2,128 名

体験講座（組香・貝あわせ）ー日本の伝統文化にふれるー 25 件、816 名

その他、学芸部・管理部業務支援として 1 名、特別専任ボランティアとして 25 名、講座等題字作成に 1 名、館内生け花に 1 名のボランティアに活動いただいた。

② 行事として以下を実施した。

9 月 30 日 ボランティアの会発足 30 周年記念会（同時に記念誌発行・配布）

3 月 11 日 懇親会（参加者数計 148 名）

3 月 11 日 ボランティア定年御礼会（対象者数計 11 名、参加者数計 8 名）

3 月 11 日 第 6 期ボランティア活動継続 10 年の表彰式

③ 各展示会毎の解説研修を行ったほか、以下の研修を実施した。

2 月 1 日 新規具合合わせ体験ボランティアデコパージュ研修

2 月 9 日 新規受付ボランティア研修

3 月 2 日 新規聞香体験ボランティア研修

④ 見学会として以下を実施した。

6 月 7 日 名古屋城ガイドボランティアによる解説付き見学

10 月 19 日 熱田神宮ガイドボランティアによる解説付き見学

(6) 徳川美術館運営懇話会

9 月 5 日、徳川美術館貴賓室において、豊田 鐵郎 氏（(一社) 中部経済連合会名誉会長、本会座長）、大村 秀章 氏（愛知県知事）、河村 たかし 氏（名古屋市長）、山本 亜土 氏（名古屋商工会議所会頭）、小笠原 剛 氏（(株) 三菱東京 UFJ 銀行常任顧問）、徳川 義崇（(公財) 徳川黎明会代表理事・徳川美術館館長）の出席下、第 26 回目として開催され、座長・委員の交代、会則の一部変更が承認されるとともに、徳川美術館の展示実績、入館者数、展示計画が報告され、あわせて耐震工実施と寄附金の状況について報告が行われた後、美術館の運営についての質疑応答と意見交換が行われた。

(7) 徳川園各施設関係会議

1 月 30 日、ガーデンレストラン徳川園ホールにおいて、徳川美術館、徳川園、名古屋市蓬左文庫、宝善亭、ショップ葵、ガーデンレストラン徳川園で構成する徳川園各施設による本会議が開催され、愛知県観光デスティネーション・キャンペーンの概要、平成 30 年度文化庁補助事業への予算要望の概要、平成 29 年度事業実績と平成 30 年度事業計画等について報告が行われるとともに、各施設の今後の一層の連携について意見交換が行われた。

(8) 他館・博物館との連携

私立美術館会議、日本博物館協会、愛知県博物館協会等

(9) 地域との連携

「文化遺産を活かした地域活性化事業」（名古屋市文化遺産活用実行委員会主催）への参加

(10) 施設・設備の保守点検・営繕

- ・ 館内施設・設備について、自動火災報知システム、停電時電源切替開閉器、空調チラーユニット、空調機、冷水配管、地下ポンプ室、消火栓、消火器、排水管、駐車場塀、監視装置、職員用入退管理システム等の保全を実施した。
- ・ 庭園整備については敷地内と周辺民家に隣接する樹木の一部伐採等を行った。
- ・ 茶室整備については茶会用の簡易通路の保全を実施した。

(11) 国庫補助金による事業

上記 1.(2)②a.に記載

(12) 民間助成金による事業

上記 1.(2)②a.に記載

(13) 活動支援基金による事業

① 寄附金受付業務

前年度に引き続き、徳川美術館の実施事業を対象にした募金活動を行った。本年度の実績は、以下のとおりである。

- ・ 公募期間 平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで
- ・ 受付結果 11,351,361 円 (法人 27 件 (3,660,000 円)、個人 226 件 (7,640,000 円)、募金箱 51,361 円)

② 寄附金の使途

活動支援基金事業として、以下の美術品の修復・補修に使用した。

- ・ 古天明釜 銘 梶
- ・ 花唐草文蒙流仕覆 (瀬戸夏山春慶茶入附属)
- ・ 間道仕覆 (唐物筋釣付茶入附属) (継続)

③ 感謝状の贈呈

高額寄附者 (個人 30 口以上、法人 10 口以上) に対し、感謝状を贈呈した (個人会員 7 名、法人会員 1 社)。

[公益事業 2] 研究所の調査・研究・教育・普及事業（徳川林政史研究所）

平成 29 年度、徳川林政史研究所においては、所蔵史料の尾張徳川家文書の整理・研究・公開を進めるとともに、公益財団法人犬山白帝文庫など、他機関所蔵の尾張藩関係史料の調査・研究を行った。また、引き続き林政史研究と林政史アーカイブズ調査を行い、研究成果として一般向けの普及書『江戸時代の森林と地域社会』を刊行したほか、林政史アーカイブズ調査で収集した複写資料のうち、岐阜県歴史資料館所蔵林政史関係史料の一部を公開する体制を整えた。これらの活動には、人材養成のための助成金を活用し、若手研究者を各種調査・研究に積極的に参加させ、その育成に努めた。なお、当研究所の活動に対する寄付公募に対し、本年度も 500,000 円の支援基金が寄せられ、これを活用して史料の補修を実施し、併せて新たに史料を購入した。

1. 調査・研究

(1) 研究

課題（開始年度）

- ・ 近世材木商の研究（平成 11 年度） 竹内 誠（所長）
- ・ 名古屋城の構造と儀礼に関する研究（平成 27 年度） 深井 雅海（副所長）
- ・ 尾張藩幕末維新史の研究（平成 24 年度） 藤田 英昭（研究員）
- ・ 近世弘前藩領における地域社会と山林（平成 26 年度） 萱場 真仁（非常勤研究員）
- ・ 近代山村史の研究（平成 26 年度） 加藤 衛拓
(筑波大学教授、特任研究員)
- ・ 上州山中領における御林・御巢鷹山の管理と
その変遷（平成 28 年度） 佐藤 孝之
(東京大学史料編纂所教授、特任研究員)
- ・ 近世木曾山地方における林業開発と
在郷村営農の変遷に関する史的研究（新規） 大崎 晃（特任研究員）
- ・ 小田原藩領における漆の生産について（新規） 桐生 海正（非常勤研究生）
- ・ 近世後期における「山崩」と村人の生活
－羽州新庄藩領を事例に－（新規） 栗原 健一（非常勤研究員）

(2) 研究会（於、徳川林政史研究所）

- 8 月 10 日 小田原藩における漆専売制の確立 桐生 海正
- 10 月 27 日 近世後期村落における「山崩」と庄屋役
－出羽国最上郡南山村を事例に－ 栗原 健一
- 11 月 24 日 慶応四年前後における尾張徳川家の政治動向 藤田 英昭

(3) 「尾張徳川史」編纂準備

- 『源敬様御代御記録』編纂・刊行のための研究会を開催（9 回）
- 「瑞龍院様（光友）御代 公辺・御家御記録」「泰心院様（綱誠）御代・公辺・御家御記録」（旧蓬左 143-5）
のデータベース作成作業を実施
- 「瑞龍公実録」（旧蓬左 138-16）の筆耕・解読作業を実施

(4) 尾張徳川家関連古写真史料の研究

古写真史料の研究に資するため、引き続きガラス板古写真のデジタルデータ化を実施

2. 若手研究者の育成

(1) 非常勤研究員・研究生による研究会の開催

- ① 7 月 28 日（第 1 回） 於、(公財) 上廣倫理財団 UF ホール
- 近世中・後期における北国街道上田宿の特質 竹内 竜馬
- 加賀藩の医療対策 萱田 寛也
- 加賀藩江戸勤番武士の研究 仲泉 剛

特別講話：歴史史料の複合的な読み方
尾張藩主の御成
徳川義直の人物像
ヒバをめぐる弘前藩領の人びと

深井 雅海
池ノ谷 匡祐
川島 孝一
萱場 真仁

② 3月2日（第2回） 於、豊島区立生活産業プラザ 601・602 会議室

年始御礼にみえる贈答儀礼
大奥女中の職制における徳川将軍家の〈乳母〉をめぐる一考察
江戸幕府の崩壊と牧場経営の変容
王滝村松原家文書にみる御山守内木家と松原家との関わり
王滝村松原家と御嶽神社
秋田藩の森林管理と御山守
加子母の山をめぐる裁判

塚田 沙也加
高田 綾子
高木 謙一
萱場 真仁
櫻庭 茂大
芳賀 和樹
長沼 秀明

(2) 非常勤研究員・研究生による史料整理

7月24日～8月4日 夏季集中史料整理（王滝村松原家文書）
2月19日～3月1日 春季集中史料整理（王滝村松原家文書）

(3) 非常勤研究員・研究生の徳川美術館・名古屋市蓬左文庫見学研修

7月7日～7月8日 参加者計2名（平成29年度新規採用非常勤研究生）

3. 編集・刊行

(1) 『金鯨叢書』第45輯（『研究紀要』第52号）編集・刊行

平成26年度より徳川林政史研究所の単独発行を中止し、『金鯨叢書』に一本化した。『金鯨叢書』の林政史研究所執筆部分を『徳川林政史研究所研究紀要』として、単独刊行時からの通し番号を付与し、徳川林政史研究所の『研究紀要』としている。

宝暦期における尾張藩の御用材仕出と「三浦・三ヶ村御山守」
近世後期の林業・営農からみた山村の経済危機（中）
「天保年中巳荒子孫伝」にみる山村の災害と救済
小田原藩領の村々と漆液の流通統制
江戸幕府の政治運営に見る格式
慶応四年前後における尾張徳川家の内情と政治動向

太田 尚宏
大崎 晃
栗原 健一
桐生 海正
深井 雅海
藤田 英昭

・ 活動報告

徳川林政史研究所公開講座 in 岩手 「新視点・北奥羽の歴史－森林をめぐる江戸時代の人びと－」
平成29年度の調査・研究・普及活動

・ 所蔵史料目録

徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録（14）
徳川林政史研究所所蔵 徳川林政史研究所収集絵図（林絵図）目録

(2) 『金鯨叢書』第44輯（『研究紀要』第51号）寄贈・送付業務

印刷部数570冊（うち、寄贈・交換519冊）

4. 史料調査・収集

(1) 林政史アーカイブズ調査

7月12日～7月14日 飛騨高山まちの博物館・岐阜県歴史資料館所蔵史料調査
9月2日～9月4日 弘前市立弘前図書館所蔵史料調査
10月13日～10月16日 岐阜県中津川市域史料調査（第1回）
2月23日～2月26日 岐阜県中津川市域史料調査（第2回）

(2) 研究資料の調査収集

4月28日～4月29日	茨城県立歴史館所蔵史料調査
6月18日～6月20日	犬山城白帝文庫所蔵史料調査（第1回）
11月12日～11月14日	犬山城白帝文庫所蔵史料調査（第2回）
1月22日	名古屋市蓬左文庫所蔵史料の収集（第1回）
3月15日	名古屋市蓬左文庫所蔵史料の収集（第2回）

(3) 研究用資料の撮影・収集

上記調査において、以下の通り写真撮影を実施した（複写収集も含む）。

- ・ 飛騨高山まちの博物館・岐阜県歴史資料館所蔵史料（デジタルデータ 2,586 コマ）
- ・ 弘前市立弘前図書館所蔵史料（デジタルデータ 3,148 コマ）
- ・ 岐阜県中津川市域史料調査（デジタルデータ 14,019 コマ）
- ・ 茨城県立歴史館所蔵史料調査（デジタルデータ 4,798 コマ）
- ・ 犬山城白帝文庫所蔵史料調査（デジタルデータ 9,453 コマ）
- ・ 名古屋市蓬左文庫所蔵史料の収集（複写史料 5,881 枚）

(4) 研究用史料の収集・購入

以下の資料を購入した。

- ・ 江戸城内各部屋の襖掛物設置図 1 点
- ・ 江戸城図及御本丸之図 1 点
- ・ 江戸城本丸御座席図 1 点
- ・ 尾張徳川家史料一括（義勝～義禮の時代の尾張徳川家会計関係書類） 59 点
- ・ 名古屋城附近之図 1 点
- ・ 名古屋城新御殿間取り図 1 点

5. 所蔵史料の整理

(1) 史料整理・点検

- ・ 犬山・中野熊助文書を整理し、目録カードを作成した。
本年度は見積総数*約 350 点のうち計 220 点完了。
- ・ 旧名古屋税務監督局所蔵史料番号確定作業を行い、目録を作成した。
総史料点数 3,312 点のうち、2,392 点完了。
- ・ 王滝村松原家文書を整理し、本年度は 3,203 点分の目録を作成した。見積総数*約 7,000 点のうち、計 5,321 点完了。
- ・ 尾張国葉栗郡極楽寺村脇田家文書の目録を作成した（計 167 点）。
- ・ 尾張国葉栗郡極楽寺村文書の目録を作成した（計 32 点）。
- ・ 尾張国葉栗郡文書の目録を作成した（計 4 点）。
- ・ 三河国設楽郡大草村文書の目録を作成した（計 45 点）。
- ・ 三河国設楽郡関係文書の目録を作成した（計 19 点）。
- ・ 三河国幡豆郡 西小榎新田文書の目録を作成した（計 22 点）。
- ・ 三河国幡豆郡 一色村文書の目録を作成した（計 7 点）。
- ・ 三河国幡豆郡 江原村文書の目録を作成した（計 5 点）。
- ・ 三河国幡豆郡関係文書の目録を作成した（計 6 点）。

※ 見積総数

各史料群の点数は、整理開始時の概算によるものであり、今後の史料整理により、新たに史料が確認されて、点数が増加する見込みであるため、整理中のものについては、現時点で「見積総数」と表記している。

(2) 史料のデジタルデータ化

- ① ガラス板古写真のデジタルデータ化（13 点 13 カット）

② 史料のデジタルデータ化

- ・ 外部委託
デジタル撮影「維新書簡」ほか、112 カット
- ・ 所内作業（デジタルマイクロリーダープリンター導入による）
「事蹟録」ほか、6,242 コマ

(3) 史料補修

以下の史料の紐綴じ補修を行った。

旧蓬左 6・50「松平慶永公御代記事」他、旧蓬左文庫所蔵史料 145 点

6. 所蔵史料の目録刊行

- (1) 尾張徳川家文書目録（十四）を『金鯨叢書』第 45 輯（『研究紀要』第 52 号）に収録刊行した。
- (2) 徳川林政史研究所収集絵図（林絵図）目録を『金鯨叢書』第 45 輯（『研究紀要』第 52 号）に収録刊行した。

7. 教育・普及

(1) 講座・講演

① 徳川林政史研究所公開講座・豊島区教育委員会共催

9月7日	弘前藩の山林資源枯渇と藩の対応	萱場 真仁
9月14日	御城坊主の日記に見る桜田門外の変	深井 雅海
9月21日	篤姫の入興	吉成 香澄
9月28日	ペリー来航前後の徳川慶勝	藤田 英昭
10月5日	ペリー来航と横浜開港	竹内 誠

② 徳川美術館主催「徳川林政史研究所古文書入門講座」に講師として参加した。

6月10日	田沼意次の虚像と実像	深井 雅海
6月17日	尾張藩の治山・治水	萱場 真仁
6月24日	田沼意次と一橋治済	深井 雅海
7月1日	名古屋城の修築と藩主巡覧	白根 孝胤
7月8日	宝暦十年 公家の食べあるき東海道中記	藤田 英昭
7月16日	尾張御小納戸日記を読む	藤田 英昭

③ 徳川美術館主催「江戸学講座」に講師として参加した。

11月11日	江戸城今昔物語	竹内 誠
12月2日	江戸城本丸御殿の機能	深井 雅海
1月13日	天保の西丸再建と木曾山	萱場 真仁
1月27日	江戸城明渡しと尾張藩	藤田 英昭

④ 徳川林政史研究所公開講座・岩手史学会共催

11月18日	「新視点・北奥羽の歴史ー森林をめぐる江戸時代の人びとー」 於、岩手大学学生センターA棟1階G19教室	司会 深井 雅海
	森林にみる盛岡藩の歴史	脇野 博
	ヒバをめぐる弘前藩領の人びと	萱場 真仁
	森林がむすぶ秋田の鉱山と村々	芳賀 和樹
	質疑・応答	

⑤ その他の講演

- ・ 竹内 誠
- 5月17日 江戸の暮らしと文化 民族衣装文化普及協会中京支部
- 5月18日 江戸庶民の暮らしと文化 中央区環境衛生協会創立 60 周年記念講演

5月28日	江戸の美意識「いき」	民族衣装文化普及協会関東支部
6月6日	江戸の暮らしに学ぶ	日本ブライダル文化振興協会総会
12月10日	赤穂事件の因縁話	墨田区立ひきふね図書館すみだ文化講演会
2月25日	江戸時代の子育てに学ぶ	中央区家庭教育推進協議会
3月16日	江戸の暮らしに学ぶ	時事通信社内外情勢調査会中東遠支部
・ 深井 雅海		
4月12日 (～全2回)	江戸城の構造と幕府の政治制度	聖心女子学院生涯学習センター文化講座
5月10日 (～全4回)	本丸御殿表向と殿中儀礼	聖心女子学院生涯学習センター文化講座
6月17日	江戸幕府の政治運営にみる格式 ー江戸城本丸御殿を素材にー	国史学会大会公開講演
7月5日 (～全4回)	表向の構造から見た政治の仕組み	聖心女子学院生涯学習センター文化講座
10月4日 (～全6回)	奥の構造に見る将軍の生活	聖心女子学院生涯学習センター文化講座
1月10日 (～全3回)	大奥の構造に見る女性たちの生活	聖心女子学院生涯学習センター文化講座
2月21日	将軍の外出・外泊に見る御殿の構造	聖心女子学院生涯学習センター文化講座
3月3日	寛政改革の黒幕・一橋治済	茨城県立歴史館特別展講演会
・ 藤田 英昭		
4月16日	幕末の徳川将軍と天皇	江戸楽アカデミー
6月25日	江戸からのメッセージ ～日本橋と築地の歴史を中心に～	日本小児救急医学会学術集会
5月21日	江戸城無血開城	江戸楽アカデミー
8月29日	戸山邸をめぐる天璋院と徳川宗家	徳川美術館夏期講座
9月23日	天璋院と幕末維新期の大奥	江戸楽アカデミー
10月14日	和宮降嫁の舞台裏	明海大学オープンカレッジ
11月7日	江川コレクションの概要	ISEAS LIBRARY (Singapore)
12月2日	京都滞在中の徳川慶喜とその周辺	鎌倉生涯学習センター
3月8日	徳川慶勝がみた幕末の京都	蓬左文庫講座
3月18日	明治維新期の一橋徳川家	茨城県立歴史館講座
3月31日	大奥の変遷	江戸楽アカデミー
・ 萱場 真仁		
3月10日	寛政期における弘前藩の林政改革	東北近世史研究会

(2) 書籍の編集・刊行

- ① 尾張徳川家に関する調査・研究の成果として、尾張家初代徳川義直の事績をまとめた「源敬様御代御記録」全36冊のうち、寛永17年から正保3年までの7冊分を『史料纂集 古記録編 源敬様御代御記録』第三(八木書店、2月27日発行)として刊行した。
- ② 平成27～29年度の特定奨励費補助事業「近世・近代の林政と地域社会に関する調査・研究・普及事業」の成果として『江戸時代の森林と地域社会』を編集・刊行した。
- (3) ホームページの作成・公開
徳川林政史研究所ホームページを更新し、『研究紀要』掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。
- (4) 所外出講

明海大学
学習院女子大学

日本の歴史
学習院史

前期・後期
前期

藤田 英昭
藤田 英昭

- (5) 案内パンフレットの作成
徳川林政史研究所の案内パンフレットを作成した。

8. 所蔵史料データベースの構築および保存

- (1) 尾張徳川家文書
- (2) 石河家文書
- (3) 尾張国丹羽郡天摩村文書
- (4) 尾張国丹羽郡高木村文書
- (5) 尾張国丹羽郡下野原新田文書
- (6) 尾張国丹羽郡羽黒村吉野家文書
- (7) 尾張国丹羽郡南山名村文書
- (8) 尾張国丹羽郡西大海道村鈴木徳太郎関係文書
- (9) 尾張国丹羽郡関係文書
- (10) 尾張國中島郡関係文書
- (11) 尾張国名古屋戸田町中嶋屋文書

9. 徳川美術館との連携

(1) 展覧会への史料出陳

- ・ 展覧会名：「江戸の生きもの図鑑 ―みつめる科学の眼―」

貸出日：4月5日

出陳史料名：草木性譜ほか6点

- ・ 展覧会名：「天下人の城 ―信長・秀吉・家康―」

貸出日：7月6日

出陳史料名：尾州名護屋慶長以前之古図ほか11点

- ・ 展覧会名：「天璋院篤姫と皇女和宮」

貸出日：7月6日

出陳史料名：江城請取顛末ほか3点

- ・ 展覧会名：「明治150年記念 華ひらく皇室文化」

貸出日：3月22日

出陳史料名：浅草瓦町邸外観写真ほか5点

(2) 研究協力

歴代当主の事績や年譜に関する情報を共有するなど、徳川美術館学芸員と密接に連絡を取り合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

10. 他機関との連携・協力

(1) 名古屋市蓬左文庫

徳川林政史研究所所蔵史料の一部を紙焼きおよびデジタルデータで提供し、名古屋市蓬左文庫での閲覧公開に協力した。

(2) 犬山城白帝文庫

犬山城白帝文庫と研究協力に関する覚書を取り交わし、調査・研究事業を遂行した。11月13日には、合同研究会を開催し、研究成果を共有した。

(3) (公財) 徳川記念財団

徳川林政史研究所では、受託史料として、徳川宗家(旧将軍家)に伝来した史料、約5,130点を保管し

ており、これら伝来品の活用を図る目的で設立された（公財）徳川記念財団が、調査・展示などで保管史料を利用する際には、史料出納をはじめ、調査への助言、閲覧室・写真撮影場所の提供、貸し出しの立ち会い等の協力を行っている。本年度は、（公財）徳川記念財団が実施した展示事業・閲覧など 16 件について協力した。

5月30日	「訴状留・訴状箱鍵」2件5点	展示事業
7月5日	「孝明天皇宸筆」ほか10件12点	展示事業
9月11日	「大樹宛敬子書状」ほか2件2点	展示事業
9月11日	「御年譜」ほか13件20点	閲覧対応
	「徳川家茂奏聞書」ほか17件28点	展示事業
	「文昭院殿御実紀」ほか5件38点	閲覧対応
	「大猷院殿御実紀」ほか3件91点	閲覧対応
9月29日	「文昭院殿御実紀」ほか5件34点	展示事業
	「大政奉還勅許写」ほか6件6点	展示事業
10月13日	「御答（一橋治済書状）」ほか16件18点	撮影対応
11月19日	「徳川家茂奏聞書」ほか17件28点	展示事業
12月11日	「御年譜」ほか2件3点	展示事業
	「大樹宛敬子書状」ほか2件2点	展示事業
12月20日	「文昭院殿御実紀」ほか5件34点	展示事業
2月9日	「牧野備前守御目見の節御意之振」ほか40件40点	展示事業
	「館林殿鷹場練間上使留」1件1点	展示事業

(4) 教育・研究機関の研修受入れ等

7月13日	学習院大学「博物館実習」受講者 担当教員の付き添いのもと、学生10名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。
1月25日	聖心女子大学「資料整理実習」受講者 担当教員の付き添いのもと、学生7名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。
3月16日	中京大学「卒業研究ゼミナール（近世史）」受講者 担当教員の付き添いのもと、学生9名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。
3月16日	信州大学「日本近世史ゼミ」受講者 担当教員の付き添いのもと、学生10名の史料調査・閲覧を受け入れた。

11. 所蔵図書の整理

(1) 図書整理

昨年度に引き続き、図書・雑誌のコンピューター入力を進め、新着図書520冊に対し、ラベル貼付並びに入力作業を行った。

(2) 図書の購入・受贈

図書は、『未刊 松平定信史料第一巻』等200冊を購入。その他受贈した図書320冊。
雑誌は、『歴史学研究』等152冊を購入。その他受贈した雑誌382冊。

12. 閲覧・出陳・レファレンス業務

(1) 史料閲覧

① 所蔵史料の公開

本研究所は、約7万8千点の歴史資料（旧蓬左文庫所蔵史料・尾張徳川家文書・旧名古屋税務監督局所蔵史料・旧愛知県庁所蔵史料・写真資料など）を所蔵し、閲覧日を設けて定期的に所外研究者に対する閲覧の便宜を図っている。本年度の閲覧許可数は31件、延べ閲覧者数は152人にのぼった。

② 収集史料の公開

林政史アーカイブズ調査で収集した岐阜県歴史資料館所蔵「高山陣屋文書」のうち、幕府林政の基本史料 100 点分の複製本（125 冊）を作成し、当研究所で閲覧公開できる体制を整えた。

- (2) 所蔵史料の出陳
本年度は外部機関への史料出陳なし。
- (3) レファレンスへの対応
閲覧来所者および電話でのレファレンスに対応した。

13. 所蔵史料写真の貸出および複写サービス

- (1) 所蔵史料写真の貸出および複写
受付総数計 114 件（林政史研究所直接受付 108 件、愛知県公文書館受付の紙焼き史料複写申請 6 件）
- (2) 蓬左文庫受付の二次複写申請
受付総数計 6 件（DVD からの複写 6 件、紙焼き史料の複写 0 件）

14. 補助金等関係事務

- (1) 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（特定奨励費）
申請者：（公財）徳川黎明会徳川林政史研究所
研究事業名：近世・近代の林政と地域社会に関する調査・研究・普及事業
交付機関：（独）日本学術振興会※
交付金額：8,600,000 円
※ 平成 26 年度より特定奨励費の交付業務は文部科学省から（独）日本学術振興会へ移管されている。
- (2) 特定奨励費以外の科学研究費助成事業
 - ① 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）
研究種目：基盤研究(B)
研究課題名：高雄曼荼羅にみる古代アジア密教美術の様相
交付機関：奈良国立博物館（（独）日本学術振興会）
交付金額：500,000 円
研究分担者：徳川美術館 学芸部学芸員 安藤 香織
 - ② 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）
研究種目：基盤研究(A)
研究課題名：近世狩野派を中心とした図様継承と絵画制作システムに関する研究
交付機関：東京国立博物館（（独）日本学術振興会）
交付金額：161,000 円
研究分担者：徳川美術館 学芸部学芸員 安藤 香織
 - ③ 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）
研究種目：基盤研究(B)
研究課題名：東北型社会の特質に関する史的研究—地域資源の開発・管理・利用との関係を重視して
交付機関：筑波大学（（独）日本学術振興会）
交付金額：300,000 円
研究分担者：徳川林政史研究所 非常勤研究員 芳賀 和樹
 - ④ 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）
研究種目：基盤研究(B)
研究課題名：パレオフォレストリーに基づく日本海地域のスギの成立および変遷要因の解明
交付機関：森林総合研究所（（独）日本学術振興会）
交付金額：250,000 円
研究分担者：徳川林政史研究所 非常勤研究員 芳賀 和樹

- (3) その他の競争的資金および民間助成金等
助成金名：公益財団法人上廣倫理財団教育・研究・活動助成金
申請者：徳川林政史研究所 所長 竹内 誠
事業名：歴史学研究の発展に貢献できる若手研究者の育成
助成機関：(公財) 上廣倫理財団
交付金額：5,000,000 円

15. 活動支援基金による事業

- (1) 寄附金受付業務
前年度に引き続き、徳川林政史研究所の実施事業を対象にした募金活動を行った。本年度の実績は、以下のとおりである。
- ・ 公募期間 平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで
 - ・ 受付結果 500,000 円 (法人 0 件 (0 口)、個人 22 件 (50 口))
- (2) 寄附金の使途
- 史料購入 (前記 4.(4))
「江戸城内各部屋の襖掛物設置図」 15 点ほか、計 6 件 (合計 64 点) 533,600 円
- 史料補修 (前記 5.(3))
「松平慶永公御代記事」他、旧蓬左文庫所蔵史料 145 点の紐じ直し補修 657,720 円

16. 事業評価委員会の開催

3 月 23 日、外部委員による事業評価委員会が開催され、徳川林政研究所が実施した本年度事業について評価・講評を受けた。

17. 資産取得

- (1) 什器備品 ノートパソコン 1 台
(2) 図書 購入 200 冊、受贈 158 冊

18. 施設・設備の保守点検・営繕

- (1) 本部建物空調設備熱交換器交換
(2) 徳川林政史研究所閲覧室窓用ブラインド交換 (1 箇所)

II.収益目的事業

[収益事業1] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

1. 不動産賃貸

外国人向け住宅の賃貸（全6棟）

[収益事業2] ミュージアムショップ・宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

1. ミュージアムショップの運営

オンラインショップを拡充し、展示品をモチーフにしたオリジナル商品の開発に協力するとともに、新規取引業者を開拓する等の努力を行った結果、対前年度売上比 78.2%、对本年度売上予算比 100.6%を達成することができた。

2. 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

展覧会のテーマに合わせたメニューの開発、WEB サイト、SNS 等による広報に努めた結果、対前年度売上比 4%増を達成することができた。

事業報告の附属明細書

平成 29 年事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成していない。